

平成26年度第3回「岐阜県男女共同参画二十一世紀審議会」議事要旨

日 時	平成27年3月27日(金) 14:00～15:40
場 所	岐阜県男女共同参画プラザ 研修室
出席委員	今井田裕子委員、小池肇子委員、近藤真庸委員、高木俊徳委員、寺松みどり委員、永井京子委員、林 陽子委員、廣瀬直美委員、舟渡克行委員、見田村勇磨委員、横山太一委員(五十音順)
欠席委員	櫻井千佳子委員、戸谷理英子委員、別宮理恵委員、水野正敏委員
県(事務局)	河野子ども・女性局長、市橋子ども・女性政策課長
会 議 の 概 要	
○ 開会	
1 来年度の男女共同参画及び女性の活躍推進施策について事務局から資料に沿って説明した。	
(質疑概要)	
委 員	<p>「大女子会」は、なぜ対象は女子大生だけなのか。</p> <p>また、働いている女性は多くが会社勤めだと思われるが、「活躍する女性」は、なぜ起業している方だけなのか。</p> <p>また、なぜ50代以下に限定しているのか。昨年、瑞穂市で、男女共同参画に係るワールドカフェを行った。18歳以上の男女で行ったが、何の支障もなかった。お互いにためになる話が聴けてよかった。</p> <p>「未来の生き方を考える」の最後のページに、「だんなさん」とか「がんばって出世してもらおう」「だんなさんが長男だから面倒をみる」などの記述がある。偏った考え方だと思うが、これを高校生に見せるのはどうか。</p>
委 員	<p>18歳から22歳までの岐阜県の女性で、大学に在学している人は何割か。専門学校や働いている方もいるのに、「大女子会」は、なぜ女子大生だけが対象なのか。</p>
課 長	<p>割合は確認しているが、18歳から22歳までの女性では女子大生が一番多いと思われる。「大女子会」は、今回が初めての試みで、ひとまず女子大生を対象に開催した。</p> <p>「活躍する女性」については、来年度もいろんなジャンルの方をお願いすることにしており、起業している方に限定するものではない。また、これから社会に出る方が、気軽に話せる世代ということで、40代以下の方に来ていただいたが、これがすべてというわけではないと考えている。</p>
事 務 局	<p>大学生でないといけないとか、専門学校生は参加できないとか、限定的に設定したつもりではないが、大学を通じて呼びかけても集客にも苦労したのは確かである。若い人にどういうツールで呼びかければいいのかも含めて、今後検討したい。</p> <p>「未来の生き方を考える」については、ご意見を踏まえ、表現について見直してまいりたい。</p>

委 員	<p>ライフプランシートの部分は、私が中学生の時、家庭科の授業で作成したものとあまり変わっていない気がする。例は男女共同参画の視点で、複数ある方が良いと考える。</p> <p>また、決定された県内で活躍する女性85名の名前を知りたいのだが、何を見ればわかるのか。</p>
事 務 局	特に公表していない。
事 務 局	この冊子は、国の少子化対策交付金を使って、結婚、出産など、将来の自分の生き方などについて考えてもらうために作った。あくまでも例示であり、特定の価値観を押し付けているものではない。いろいろなご意見を聞いてより良いものに改善していきたい。
委 員	少子化対策と子育て支援は似て非なるもの。同じように考えるのは、よくないのではないか。
事 務 局	今年度、5年間の「少子化対策基本計画」を策定したところである。県としては、結婚や出産を押し付けるものではなく、あくまで、県民の希望を叶えるというスタンスである。
委 員 長	使い方によっては、使えるのかなと思う。しかし、何も説明せずに、高校生にポンと渡してしまっただけでは、誤解される恐れもあるのではないか。
委 員	県の調査では、「経済的がない」という理由で結婚しない男性が多い。これは女性には無い理由である。岐阜県では賃金が低いので結婚できず、女性が都会に行ってしまう。子育てや家事は、母親だけでなく、夫婦でするものだという啓発を、若い男性向けにしていくべきではないか。
事 務 局	高校生向けのリーフレットをお配りしているが、先生方には専門知識が無い方も多いため、私どもが高校や大学に出かけて行って、話をさせていただくことや、講師の派遣もしていく。
委 員	来年度の子ども・女性局の予算は、今年度より増えるのか。
事 務 局	今年度の146億円に対し、来年度は148億円である。
委 員	男性の意識改革が重要である。トップセミナーを開催するとのことだが、経営者の方に集まってもらうのはなかなか難しいと思うが、どのように実施するのか。
事 務 局	経済団体の総会などの場を借りて、実施できないかと考えている。
委 員	エクセレント企業に報奨金を出すとのことだが、大企業に100万円を渡しても効果が薄いのではないか。次につながっていくような使い方ができないか。どのようなニーズがあるかを踏まえて、大局的に、5年後、10年後を見据えて取り組んでいただきたい。
事 務 局	エクセレント企業は、求人票を出さなくても人が集まってくるから、優秀な人を採用できる。そうすると、製造業では歩留まりが高くなっていくなどのメリットが出てくる。そういったことをきちんとPRしていきたい。

委員	<p>将来の働く場を自由に選べる立場の女性ということで考えると、「大女子会」のターゲットが女子大生というのはよくわかる。</p> <p>エクセレント企業は、大企業を対象にしていなくても、大企業でも認定できるような企業はいっぱいある。報奨金を出さなくても表彰だけでよいのではないか。企業がほしいのは、金よりも人である。</p> <p>男が元気がないという話があったが、これは教育の問題だと思う。幼い頃から、競争力を植え付けないといけない。</p> <p>県内で女性を大事にしていない企業なんてない。そうしないと人が集まらない。</p> <p>経営者協会としては、5月18日に中濃支部の総会でディズニーアンバサダーの高坂麻紀さんをお呼びする。6月23日には小島慶子さんをお呼びして、ワーク・ライフ・バランスに関する講演会を実施する。ロールモデルを見せていくことが大事である。</p> <p>「未来の生き方を考える」の最後のページ「ワーク・ライフ・バランス」の欄の矢印が、60歳の年退職後、がくんと下がって「生活重視」になっていく。今は、65歳まで再雇用ができるので、ここを見直してほしい。</p>
委員	<p>「ぎふジョ！」については、「メンズページ」をとってつけたように作っているが、今の作りでは、トップページを見た男性はそれ以上入ってこない。コンテンツも乏しいし、男性も本気で応援するのであれば、男性向けの工夫してほしい。</p>
事務局	<p>ポータルサイトについては、今後、工夫をしていきたい。</p> <p>エクセレント企業については、来年度、規模要件を撤廃し、大企業も対象とするので、ご承知おきいただきたい。また、愛知県の企業に人が流れていくという話があったが、通勤時間などを考慮した場合には、県内に通勤した方が豊かな生活が送れるとも考えられる。今後、さらにエクセレント企業を増やし県内に目を向けていただけるといいようにしていきたい。</p>
委員	<p>エクセレント企業の認定の流れは？</p>
事務局	<p>申請をいただいた企業について、審査を行い、決定する。</p>
委員	<p>具体的にはどんなものがいただけるのか。</p>
事務局	<p>認定された企業には、認定証と、のぼり旗を差し上げている。</p>
委員	<p>「くるみん」は、毎年厳しい審査があり、翌年度更新できないこともあるとのこと。エクセレント企業はどうか。</p>
事務局	<p>現在は、更新する制度にはなっていない。</p>
委員	<p>毎年、審査を行えば、信頼度が違ってくるのではないか。</p>
事務局	<p>今後の課題だと考えている。</p>

委員	<p>男性が「草食系」と言われるが、精神的な体力が無いと感じる。子どもの外での運動時間が短くなっているのが原因。</p> <p>賃金のことで言えば、教員についても、岐阜県と愛知県では違う。愛知県に近い地区の講師は、ほとんど愛知県に流れて行ってしまい、優秀な人材は愛知県の教員になってしまう。</p> <p>「未来の生き方を考える」については、全体に女の子向けに作ってあるように思える。また、子育てのページがたった7ページで少ないと感じる。男性がこのあたりの意識をどう変えるかが重要である。</p>
事務局	<p>男子高校生からも「よくわかった」「ためになった」という意見もいただいているが、今後、内容を見直して、さらによいものにしていきたい。</p>
委員	<p>「未来の生き方を考える」は、もう少し内容を詰めたうえで、20代、30代の独身男性に読んでもらおうと勉強になるのではないかと。プラザの年2回の広報だけでなく、広報のツールにもなる。</p>
委員	<p>男性の働き方の見直しが必要であり、見直した結果、労働時間は減少する。その一方で、賃金を上げていく必要があり、それらを両立させるのは難しいのではないかと。</p>
委員	<p>学生は、マスコミに出るような名のある企業しか知らず、地元で働こうという意識がない。学生が岐阜から名古屋に出ていかないようにするには、無理にでも賃金を上げるしかないが、企業努力だけでは無理になっている。</p>
委員	<p>建築業を営んでいるが、県内の工業高校に求人に行っても、なかなか採用できない。</p>
委員	<p>地域科学部の就職率はおよそ95%と高い。大学側は、地元企業ばかりなので、もっと知名度の高い企業に就職させるよう言っていたが、最近は、地元企業を大事にしている。</p> <p>エクセレント企業について、もっと周知していきたい。</p>
委員	<p>世の中には、LGBT（性的少数者）が、5.2%いると言われており、多摩市では、LGBTに関する事項を男女共同参画推進条例に盛り込んでいる。今後、こういった点についても議論していただきたい。</p>
委員	<p>大学でも、学生から相談を受ける。留学生や障がい者より、もっと多いはず。</p>
委員	<p>昨年度、計画を策定する中で議論になった。事務局としては、「人権」の計画に入れるということで結論付けたと記憶している。</p>
委員長	<p>今、どういう施策を行っていくのか。県として、県づくりの考え方が問われていると思う。</p>